

地域環境政策学科のみなさん、2024 年度「授業についてのアンケート」実施に協力頂き、有難うございました。たくさんの多様なご意見の中から、特に、授業や教育・学内環境に関するご意見・ご要望について、以下に回答いたします。

1. 授業登録について

①「4 年以外での取得単位数を増やしてください。」「取得単位数を増やしてください。」「一年間の取得単位数を増やして欲しい。」という意見については、1～3 年生で、原則 1 年間で登録できるのは 40 単位が上限ですが、以下の科目は上限を越えて登録可能です。「夏期集中講義」「春期集中講義」「スポーツ科目（但し、4 単位まで共通科目、オーバー分は自由選択科目にカウントされる）」「英語以外の外国語Ⅲ以上」「放送大学（有料）、他大学との単位互換」「インターンシップ」「海外語学文化セミナー」。現行でも 40 単位を超えて単位取得は可能ですので、チャレンジしてみてください。

2. 授業について

- ①過去のテスト問題回収：サークルや部活生が有利になるので、テストの「過去問は回収して欲しい」という意見については、常勤・非常勤に周知し、対策を取るようになります。
- ②授業中の SNS 利用の禁止：通知が鳴ってから一定時間内に撮影し投稿しないと、他のユーザーの投稿が見れないという BeReal という SNS アプリで、「通知が鳴れば授業中にもかかわらず講義と関係のない写真を撮ったり時には教授が映っている場合もあり、（中略）大学全体で問題として取り上げてほしい」「通知が鳴ると授業中にも関わらずふざけた写真や、時々教授達が写真の中に写っている投稿もありました。」「通知が鳴った瞬間授業中でもとことろ構わず撮影している人がいます。また、先生方を無断で映している人もいる（後略）。」そのため、全体的に注意喚起を求める、どうにかして欲しいという意見については、罰則を伴う授業中の SNS 利用の禁止を学則で整備することを検討し、注意喚起を行うなど、静かで落ち着いた学習環境を提供できるよう努めます。
- ③シラバスに沿った授業：「シラバスに沿って授業をして欲しい」という意見については、原則としてシラバスの内容を変更することがないよう、学科の常勤・非常勤の教員に周知していきます。
- ④必修の担当教員：「どうしても合わない先生がいる時にちゃんと対処して欲しい。こちらとしては必修だったら落とすしかない」という意見については、特別な配慮が必要であれば対処の方法を検討しますので、アカデミック・アドバイザーや学科長に相談してください。
- ⑤CAMPUSSQUARE の出席状況参照：「ホームページの出席のところを書いてほしい。」「ホームページの出席のところをわかるようにしてほしい」という意見については、CAMPUSSQUARE の出席状況参照ができるようにして欲しいという意味であると思いますが、出席登録は、各教員の任意となっていますので、担当教員に希望を伝えてみてください。CAMPUSSQUARE の出席登録について希望があったことを、学科の教員間で共有します。
- ⑥欠席届：「欠席届を誰に出せばいいかわからない」という意見については、オムニバス講義の場合には、授業を担当する先生に提出して下さい。事前に欠席届を出せない時には、メールで連絡後、研究室に届けたり、メールで送付する方法もあると思います。
- ⑦ペーパーレス化：「桜美林みたいにレジュメを紙じゃなくて自分達でパソコンに写したり書いたりした方がいい」という意見については、全学生にパソコンの購入や所持を義務づけられるのか等も含めて検討してみます。
- ⑧教室の規模：「受講生の数と教室の規模が合っていない講義があり、座席が決められていることも相まって前後左右密着しすぎているので、受講生の人数と教室の大きさはなるべく合わせてほしい」という意見については、まずは担当教員に、より大きな教室に変更することを要望してみてください。また、本学科からも授業の定員に合わせて適切な教室を割り当ててもらえるように大学側に要望していきます。
- ⑨授業での空調：「部屋が少し暑い」という意見については、担当教員にクーラーの効く席へ移動できるよう要望してみてください。熱中症の心配がある場合には、適宜水分を摂取して体調管理に気をつけてください。「冷房が効きすぎている、または設定温度が低い。」「大きい教室が寒い」「暖房をつけてほしい。」という意見については、教室の空調の温度を 28℃に設定して、冷え過ぎを防止して下さい。また、担当教員にクーラーが直接当たらない席への移動を要望したり、長そでの衣服を着用するなど工夫してみてください。

「教室が寒かったり暑かったりする」という意見については、状況に応じて、前述の対策を試してみてください。

3. カリキュラムについて

- ①開講科目の増加：「開講科目について、もう少し種類を増やして欲しい」という意見については、授業開講数に制限があるため増加は難しいですが、今後、どのような科目の新設について学生が希望しているかを調査し、カリキュラム改正に反映していきます。他学科の授業、各種資格の対策講座、県内大学への特別聴講学生制度等、本学科以外のカリキュラムもありますので履修を検討してみてください。
- ②祝日の出校：「祝日も休みにしてほしい」という意見については、慰霊の日や成人の日などはお休みにしています。しかしながら、祝日は月曜日が多く、祝日を全て休みにすると月曜日の授業が成り立たないため、祝日も出校日にしています。月曜日の代わりに、別の曜日に振り替えて授業する案もありますが、月曜日に授業を担当する非常勤の先生の中には、別の曜日に振り替えることができない方もおられるため、月曜日の祝日は出校日にせざるを得ない事情があります。

4. 成績評価について

- ①テスト時の違反行為：「スマホでテストを解答する機会があったが、検索機能を使っている方が見受けられたのでどうにかして欲しい」という意見については、テスト時の違反行為が生じないように学科内でオンラインでのテストの在り方を見直し、改善していきます。
- ②出席の確認：「出席してる人としてない人で成績が変わらないのはおかしいからちゃんと出席を取る授業を増やしてほしい」という意見については、評価は、「出席点」ではなく、「平常点」「授業参加度」等を考慮する授業が多いです。単位取得に「3分の2以上の出席」を条件にしている科目も多いので、公平性の観点から、出席確認の要望があることを学科の教員内で共有します。
- ③評価開示のタイミング：「評価を早めにだしてほしい」という意見については、以前は、次の学期の始めに、前の学期の成績開示がなされていたのが、現在は、次の学期を待たずに夏休みや春休み中に評価開示がなされています。現在よりも前倒しで評価開示のタイミングを早めるのは現実的でなく、現在の評価開示のタイミングで学生にどのような不利益が生じているのかも把握できていないので、不利益を被っているのであれば、アカデミック・アドバイザーや学科長などに直接ご相談ください。

5. 学内でのWi-Fi環境について

「WiFiが繋がりがやすくしてほしい」という意見については、Wi-Fi環境の強化を、大学側に要望していきます。